

【A603】秘湖オンネトーコース

■実施期間：2026年4月9日(木)～12月上旬まで(冬期通行止め)

■コース：池田ワイン城(30分)▶本別豆屋とかち岡女堂本家(20分)▶道の駅あしよる銀河ホール(20分)▶オンネトー(20分) (※めやす滞在時間※)

■発着場所：各ホテル(帯広/幕別/十勝川温泉)、帯広駅
※ご宿泊の施設までお迎えに上がります。

■所要時間：約6時間

■料金：🚗 小型タクシー ¥52,600~/台
🚲 ジャンボタクシー ¥74,700~/台

👤 最大人数：4名まで

👤 最大人数：9名まで

※発着場所のいずれかが「とち帯広空港」の場合は普通¥4,600(税込) ジャンボタクシー¥5,900(税込)追加料金でご利用いただけます。

◆コースコンセプト



池田ワイン城

※写真はイメージです



本別豆屋とかち岡女堂本家



道の駅あしよる銀河ホール



オンネトー

東十勝の池田ワイン城をはじめ、豆の本場本別町に安政二年より受け継がれる伝統の味・元祖「甘納豆」をはじめ、こだわりの豆菓子を手作る「豆屋とかち 岡女堂本家」に立ち寄り、続いて北海道が生んだ昭和の大スター松山千春さんの生まれ故郷の足寄町、道の駅あしよる銀河ホールには松山千春コーナーを併設しています。北海道の三大秘湖の一つ「オンネトー」は阿寒摩周国立公園の最西端に位置し、雌阿寒岳の麓にある周囲2.5kmの美しい湖です。その美しさと原生の魅力が多く観光客を惹きつけています。季節や天候、見る角度によって、澄んだ青、エメラルドグリーン、ダークブルーに色が変わる神秘的な湖です。

◆施設概要

🏰 池田ワイン城



■時間：9:00～17:00

■定休日：年末年始

■所在地：中川郡池田町字清見83-4

地下熟成室ではワインが静かに眠るフレンチオーク樽やオールドビンテージの数々、1階には十勝ワインをはじめ池田町の特産品が買えるショッピングエリア、楽しさいっぱいのワイン城です。ここ「ワイン城」の正式名は「池田町ブドウ・ブドウ酒研究所」。ヨーロッパ中世の古城に似ていることから誰からとなく「ワイン城」と名づけられ、親しまれています。地下熟成室ではワインが静かに眠るフレンチオーク樽やオールドビンテージの数々、1階には十勝ワインをはじめ池田町の特産品が買えるショッピングエリア、4階にはレストランがあり、楽しさいっぱいのワイン城です。

豆屋とかち岡女堂本家



- 時間：夏：10:00～17:15 冬：10:00～16:45
- 定休日：無休
- 所在地：本別町共栄18番地8

創業160年余りの歴史ある豆屋とかち岡女堂本家では、甘納豆や素焼き豆、豆ようかんなど、豆を使った多彩なお菓子を製造・販売しています。本別産の生豆もあるほか、北海道の銘菓なども販売しています。国道242号線沿いの観光情報センター側からご来店いただけます。日本一の豆のまちが誇る、豆菓子店の味をどうぞご賞味ください。

道の駅あしよろ銀河ホール21



- 時間：4月下旬～10月中旬 9:00～18:00
10月中旬～4月下旬 9:00～17:00
※ゴールデンウィーク、お盆、年末年始は
営業時間を延長することがあります。
- 定休日：年末年始（12月30日～1月3日）
- 所在地：足寄町北1条1丁目3番地

2004年北海道ちほく高原鉄道「ふるさと銀河線」の足寄駅舎として造られ、その後2006年に「ふるさと銀河線」は廃止されました。今回のリニューアルにあたっては、95年間にわたって地域の大切な足として活躍した「ふるさと銀河線」のホームや車両を再現展示しているほか、足寄が生んだシンガー・ソング・ライターの松山千春コーナー、物産を販売するショップ、レストランがあり、足寄の情報発信・交流の場として一新されました。また、2階にはコンサートや講演会など地域の交流の拠点となるホールがあります。

オンネトー



- 時間：特になし
- 定休日：12月上旬～翌年4月上旬まで冬期通行止めとなります
- 所在地：北海道足寄郡足寄町茂足寄

オンネトーは阿寒摩周国立公園の最西端に位置し、雌阿寒岳の麓にある周囲2.5kmの美しい湖です。その美しさと原生の魅力が多く観光客を惹きつけてます。季節や天候、見る角度によって、澄んだ青、エメラルドグリーン、ダークブルーに色が変わる神秘の湖です。湖畔西側には木造の展望デッキがあり、雌阿寒岳と阿寒富士を背景としたオンネトーを一望できます。湖畔周辺には散策路が整備され、原生林に囲まれた紅葉の見頃は、色づき始めが9月下旬頃、ピークは10月上旬から中旬にかけてです。また、波が立たない日には湖面に映る雌阿寒岳や阿寒富士の姿も見ることができ、北海道の秋を代表する絶景となっています。